

皆さんお疲れ様です。西北五支部の中田です。
西北五支部の9月、10月の主な活動を報告します。

9月12日の土曜日に、五所川原市のふるさと交流圏民センターオルテンシアにて今年も認知症フォーラムが開催されました。

市民の方々に向けて認知症について気軽に知ってもらうための本イベントは、毎回医療・福祉・介護関係者を中心に寸劇等のステージ発表、飲食物の販売等も行われています。フォーラム実行委員会委員長の津川信彦先生と弘前大学脳神経内科の西寫春生先生による講演では、新しい認知症治療薬やMCI(軽度認知障害)についても学ぶことが出来ました。今回西北五支部では、薬剤師会とケアマネージャー協会が共同でブースを出展して、アンケート調査やクイズコーナーを中心に行いました。アンケートとクイズは認知症、薬、ケアマネージャーに関するものを用意して、その後は沢山の方の薬や介護に関するお悩み相談にも対応することが出来ました。ケアマネージャーの皆さんと共同でブース出展したのは初めてでしたが、お互いがより顔の見える関係になり、今後の他職種連携にもつながりやすくなると考えています。

先日行われた第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」では西北五支部でも五所川原市(バレーボール成年女子)、つがる市(バレーボール少年女子・柔道全種目)の会場でブースを出展しました(10/11から19日にかけて)

スポーツファーマシストについてのアンケート調査、握力測定を中心に行いましたが一般の方や選手の皆さんにも沢山協力して頂きました。

支部長やスポーツファーマシストの資格がある先生方を中心に、週末だけでなく平日もシフトを組んでブース活動を行うことが出来たので良かったと思います。

今回の国スポでの活動にあたって、西北五支部での事前研修会を開催して頂いた齋藤先生、田村先生、高坂先生どうもありがとうございました。

私がブース活動に参加した時は選手から薬の相談は受けませんでしたが、もし薬局に選手が来局して相談を受けた時には研修会で学んだ内容を活かせるようにしたいと思います。

